

事後評価調書

I 事業概要						
事業名	街路事業（現道拡幅）					
地区名	尾張都市計画道路 3・3・43号名古屋江南線					
事業箇所	岩倉市大地町地内始め					
事業のあらまし	<p>本路線は、名古屋市から江南市まで尾張北部を南北に縦断する幹線道路であり、名古屋圏の環状道路機能を担う国道155号や国道302号と交差してネットワークを構築するとともに国道22号と国道41号を補完する役割も担っていることから交通需要が非常に高い路線である。また、第2次緊急輸送道路にも指定されていることから防災上においても整備が必要な路線である。</p> <p>名古屋市内及び北名古屋市は既に4車線化が完了しているが、岩倉市内から北側へ国道155号までの区間は、依然として2車線で供用されていることから、慢性的に渋滞している状況であり、当該事業区間の北側から国道155号までの区間は現在道路事業で進めているところである。</p> <p>そのため、岩倉市の中心市街地に近接する当該事業区間の整備を行い、通過交通の円滑化と緊急輸送道路のネットワーク強化を図った。</p>					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■通過交通の円滑化 ■地震減災対策の推進 <p>【副次目標】</p> <p>—</p>					
事業費	事業費	内訳				
	10.2億円	□工事費4.6億円、□用補費5.1億円、□その他0.5億円				
事業期間	採択年度	平成16年度	着工年度	平成16年度	完成年度	平成21年度
事業内容	<p>現道拡幅 （L=800m、W=23m、車線数4）</p>					
II 評価						
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■通過交通の円滑化 交通量はH17センサス（工事着手前）の16,939台/日からH22センサス（事業完了後）の19,315台/日に増加しているが、混雑度はH17センサスで1.13、H22センサスで0.78と減少していることから、4車線化により交通渋滞が緩和したと言える。 ■広域的な防災機能の向上 4車線化により緊急輸送道路としてのネットワークを強化した。 <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>本事業により、周辺地域の通過交通の円滑化が図られ交通渋滞が緩和した。また、緊急輸送道路のネットワークが強化されたことから、事業目標は十分に達成している。</p>				
	2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>—</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>—</p>				
III 対応方針						
今後の事後評価の必要性	事業目標に対して目的を達成しており、事業の有効性が認められたため、今後の事業評価の必要性はない。					
改善措置の必要性	事業目標に対する効果が発現しており、新たな課題も見られないため、改善措置の必要性はない。					
同種事業に反映すべき事項	緊急輸送道路のネットワーク強化は部分的な整備だけでは完全には解決しない。本事業のように道路事業と同時に事業を実施していくなど他事業と連携することが必要である。					